

西脇市市民提案型まちづくり事業企画書の審査結果について

市民提案型まちづくり事業企画書（年度途中提出分）について、西脇市市民提案型まちづくり事業補助金交付規程に基づき審査を行い、下記のとおり決定しました。

なお、審査につきましては、新型コロナウイルス感染症対策のため、公開プレゼンテーション及び審査部会は実施せず、審査部会委員の方から個別にいただきました意見を参考に審査を行いました。

記

団体名	事業名	事業費 (補助要望額)	補助決定額	補助率 (%)
よりあう	西脇市民のための健康増進事業	323,920円 (300,000円)	181,000円	55.9

※ 詳細については、別紙審査個票のとおり。

まちづくり推進審議会委員からの意見について（一覧）

西脇市市民提案型まちづくり事業に対する意見

1. 申請団体名

よりあう（西脇市民のための健康増進事業）

2. 委員からの意見

申請団体名	委員からの意見	市の考え
よりあう	<p>【事業の評価】</p> <p>① 健康事業を通じ市民の交流や新たなまちづくり活動を創出しようとする意図は理解できる。</p> <p>② 「共生」につながる事業である。</p> <p>③ 全ての世代、障害の有無によらず対象とすることはいいことだが、一緒に体操や運動することは大変だと思うので、具体的な方法を知りたい。</p> <p>【事業費の評価】</p> <p>① 事業費に占める備品購入費の割合が高い。</p> <p>② 備品購入については、公益活動の継続が補助の前提となるが、活動を始めてから日が浅いため、今年度の審査で全ての備品に関する補助の可否を判断することは難しいと感じる。</p> <p>③ 補助金により購入した備品は、公益的な事業に使用される必要がある。</p>	<p>【事業に対する評価】</p> <p>①② 健康事業により、市民交流や共生のまちづくりにつなげていこうとする意図が理解でき、市民提案型まちづくり事業の目的に合致すると考えられます。</p> <p>③ 市民交流や共生のまちづくりといった観点から、特定属性のみの活動ではなく広く交流が図られるような工夫を求めている必要があります。</p> <p>① コロナ禍で活動が制限される中、ポストコロナを想定した活動を行うための環境整備といった側面があります。</p> <p>② 「みらいえ」や「西脇 135」での健康体操等の状況を視察しており、運動・体操に必要な備品として疑義のない物品を補助対象とした上で、他の備品は次年度以降の審査対象とします。</p> <p>③ 非営利な公益活動が一定期間持続される必要があると考えており、グループでの活動のほか、NPO 法人や一般社団法人等非営利組織での活動を想定しています。</p>

審査個票（よりあう 代表 高澤 壮士/会員5名）

①	事業種類	対象地域	市内全域		実施期間	2.10.1 ~ 3.3.31	
②	予算/要望額/補助対象額	予算	¥ 323,920	要望額	¥ 300,000	補助対象額	¥ 181,690
③	事業名	西脇市民のための健康増進事業					
④	事業目的	健康運動やものづくり等の活動を通して、市民の健康増進に加え、多世代の交流の促進や障害のある方の社会参加を支援することを目的とする。 年齢、国籍、障害の有無を問わず幅広く対象を設定することで、より多くの交流が生まれる。また、実際に集まりみんなで活動することで「顔が見えるコミュニティ」を創出し、生活を豊かにしたり、差別等の解消につなげたりするような場づくりを行う。					
⑤	事業内容	子どもから高齢者、障害の有無に関係なくすべての西脇市民に対して、西脇135°やみらいえなどの公共施設などを活用し、運動指導、ストレッチ等を通して交流の促進を図る。					
⑥	事業効果	市民の健康増進だけでなく、子どもから高齢者・障害のある方まで幅広く対象とすることで、交流が生まれ、西脇市に貢献できると考える。 特にまちなかにおいて、包括的な健康づくり支援を通じた多様な人との交流が生まれ、まちづくりにつながると考える。					
⑦	事業の特色	<ul style="list-style-type: none"> ・健康増進という視点で、まちなかの人たちと関わることができる。 ・少子高齢化が進むまちなかで活動する。 ・まちづくりを推進する中間支援団体と連携する。 					
⑧	今後の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・外に出にくい人たちの健康増進を図る。 ・状況や状態によって、地域活動につないだり、地域医療につなげたりと包括的なシステムの構築を行う。 ・その後、さまざまなボランティア事業に発展させ、健康を通じたまちづくり活動に関わる人や団体を増やしていく。 ・継続するために、「安定」と「楽しさ」を両立させ、西脇市に貢献していきたいと考えている。 					
⑨	審査基準	公益性	市民の健康増進に加え、多世代の交流の促進や障害のある方の社会参加を支援することを目的としている。				
		必要性	実際に集まり共に活動することで「顔が見えるコミュニティ」を創出し、生活を豊かにしたり、差別等の解消につながる事業である。				
		発展性・波及性	年齢や障害の有無を問わず幅広く対象を設定することで、多くの交流を生む事業である。				
		先駆性・独創性	健康増進という視点で「まちなか」の人々と関わり活動することができる。また、中間支援団体との連携により、健康増進活動を通じたまちづくりに関わる団体を増やしていく。				
		自立性	さまざまな人との交流の中で活動を周知しながらさらなる発展につなげていく。				
		実現性	健康サロンなどの利用者も徐々に増加しており、今後ますますの発展と定着が期待できる。				
⑩	評価	E	A=100% B=90% C= 80% D=70% E= 60% F=50%		補助決定額	¥181,000	

収 入 の 部

区 分	金 額	内 訳
市 補 助 金 要 望 額	300,000	補助金
自 己 資 金	12,920	
参 加 費	11,000	@500円×2人×11回
そ の 他 補 助 金 等		
合 計	323,920	

支 出 の 部

区 分	金 額	内 訳	
報 償 費			
消 耗 品 費	48,180 (補)48,180	エクサマット、エクササイズCD	○
燃 料 費			
食 糧 費	2,000 (補) 0	お茶代ほか	×
印 刷 製 本 費			
通 信 運 搬 費			
手 数 料			
使 用 料 及 び 賃 借 料	11,000 (補)11,000	会場使用料	○
備 品 購 入 費	262,740 (補)122,510	①健康運動器具（握力計、ストレッチポール、バランスクッション） 90,830 ○ ②イス（健康体操用） 31,680 ○ ③ポータブルスピーカー 39,600 × ④超小型短焦点プロジェクター 79,750 × ⑤プリンター 20,880 ×	
合 計	323,920 (補)181,690		

事業効果への評価が困難な備品（③ポータブルスピーカー④プロジェクター⑤プリンター）については、令和2年度においては補助対象外とする。

○ 181,690（審査後補助対象経費） / 301,040（申請時補助対象経費） = 60% = E評価